

辻堂駅周辺地域まちづくり会議ニュース

第15号 平成19年1月

発行：藤沢市辻堂駅周辺地域まちづくり会議

街路樹の植栽について、ご提案を！

■湘南C-X都市再生事業が本格化

○湘南C-X（シークロス）都市再生事業については、平成17年12月の都市計画道路・公園等11案件の都市計画決定・変更の手続き、平成18年3月の土地区画整理事業の事業認可、同年6月の土地区画整理事業区域外の都市計画道路（街路）事業の事業承認を経て都市基盤施設整備に着手するとともに、同年7月には着工記念式典を開催するなど都市再生事業が本格的に動き始めました。

また、道路・北口交通広場等の都市基盤施設の整備方針、整備イメージについても当地域まちづくり会議における活発な意見交換等を踏まえ整備計画を取りまとめ、まちづくりニュース等で公表しました。さらに、企業誘致についても土地区画整理事業における仮換地指定（第一次）に伴い、産業関連ゾーンに進出企業4社が決定し、一部進出事業者の施設建設工事も始まるなど湘南C-Xのまちづくりが一步一步着実に進んでいます。

■地域まちづくり会議でも様々な意見

○平成18年12月8日に開催されました地域まちづくり会議に「湘南C-X公共空間等の植栽方針（案）」（3ページ以降参照）が報告され、様々な視点により活発な意見交換が行われました。

その中には、『季節感が味わえる樹木を！』『落葉樹より常緑樹を！』『塩害に強い樹種を！』『維持管理には地域の協力が必要』などの意見のほか、具体的な樹種名を挙げた提案もありました。

■ご提案は2月20日までに

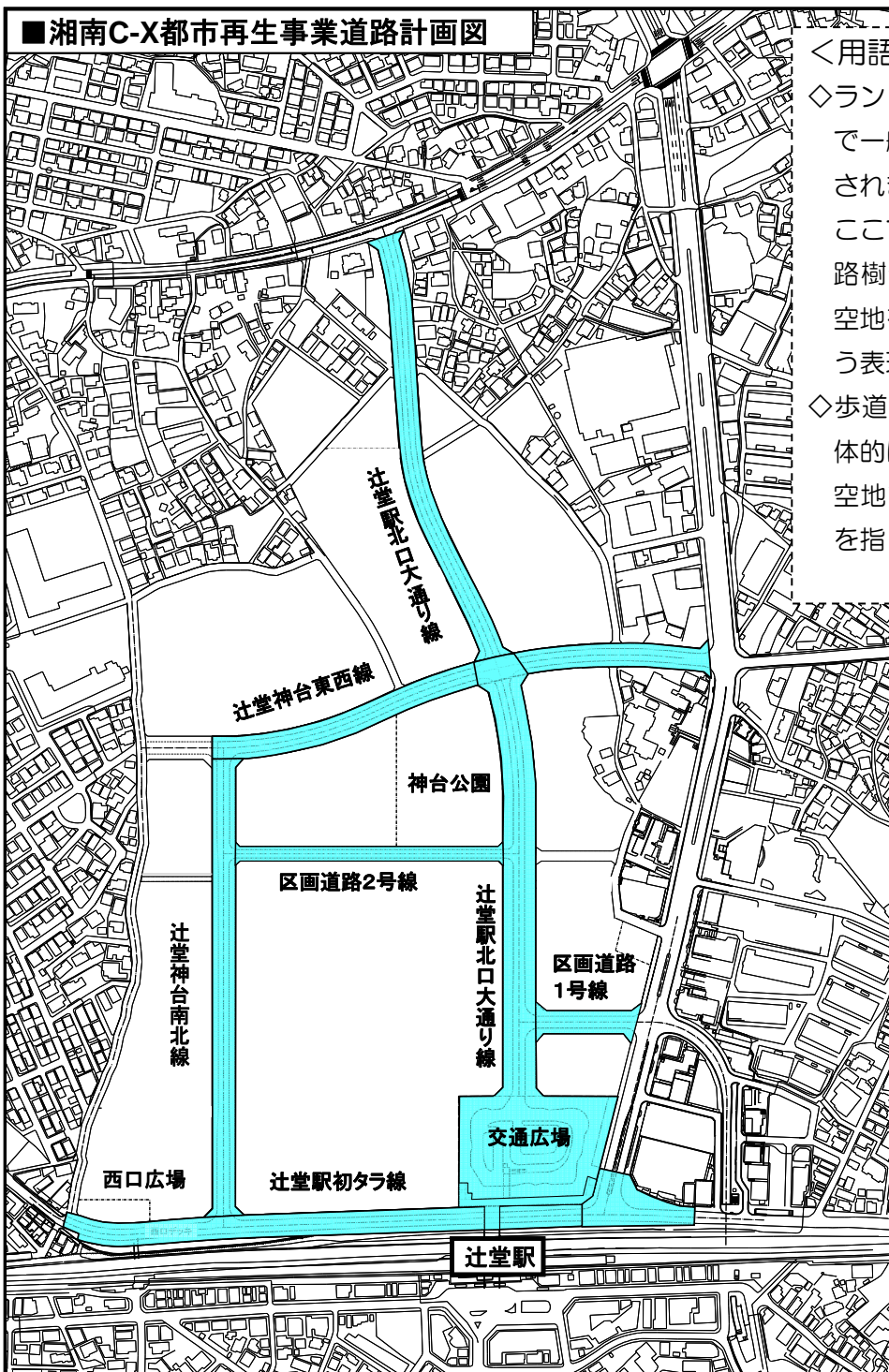
○藤沢市と独立行政法人都市再生機構では、本年2月には「湘南C-X公共空間等の植栽方針（案）」を取りまとめたいと考えています。3ページ以降に湘南C-Xのランドスケープにおける整備方針、植栽手法、街路樹のイメージ等を掲載しておりますが、市民の皆様から街路樹（辻堂駅北口大通り線、辻堂神台東西線、辻堂神台南北線、辻堂駅初タラ線、区画道路及び交通広場）の樹種についてご提案いただき、それらを参考にしながら街路樹の選定を進めていきたいと考えています。市民の皆様からのご提案をお待ちしております。

＜提案先＞ ＊ご提案は、樹種及び提案理由を添えて、Eメール、FAX、手紙等により、平成19年2月20日（火）までに事務局にお寄せください。

（事務局）〒251-8601 藤沢市朝日町1番地の1
藤沢市役所 計画建築部 辻堂駅前都市再生担当
FAX 0466-29-1353
Eメール：tujitosi@city.fujisawa.kanagawa.jp

■街路樹の選定方法について

- 市民の皆様からのご提案や地域まちづくり会議における意見等を踏まえ、藤沢市と都市再生機構が候補の樹種の評価を行います。評価にあたっては、湘南C-Xのまちづくりコンセプト、公共空間等の植栽方針、環境適応性などの評価項目に基づき整理します。
- 評価項目に基づく整理内容を湘南シークロスまちづくり調整委員会（都市計画、色彩、緑等の専門家により構成され、土地利用や街並み景観について調整する組織）に諮り、選定します。
- 選定結果については、地域まちづくり会議ニュースや藤沢市のホームページ等で報告します。



<用語の説明>

- ◇ランドスケープ…landscape（英語）
で一般的に景観、風景、眺めなどと訳されます。
ここでは街の景観、景観を構成する街路樹や宅地の緑と公園や広場などの空地を指して「ランドスケープ」という表現を使用しています。
- ◇歩道状空地…敷地と接する道路と一体的に整備され、歩道の用に供される空地で地権者が管理する土地のことを指します。

■「湘南C-X」の公共空間等の植栽方針（案）

■湘南C-Xのランドスケープにおける整備方針

緑の位置付け

藤沢市緑地体系の強化

既成市街地における新規大規模開発は、交通体系をはじめとする公共施設整備によって地域構造が強化される。公共空地に重なる緑の創出は同様に、藤沢市の緑地体系を強化していくものと思われる。それに応じていくためには、環境の骨格形成によるネットワーク化が可能な整備が求められる。

周辺市街地への配慮

一方で新規整備は周辺への配慮が必要である。周辺既成市街地の新規空地確保はきわめて困難であることを考慮して、屋外レクリエーション、防災空地、景観の向上などの役割は周辺部を含めて考えたい。そのための公園配置や、周辺部からの公園アクセスなどが必要となる。

まちづくり（景観・環境等）の主軸となる緑

まち全体の美観、環境は地区計画、景観計画などによる規制や誘導によって達成される。しかし、その主軸は公共空地である。主軸の緑量（広さ、優れたデザイン）が民地部分の誘導への説得力となる。公共空地で選択される緑の量、質は他のデザインと調和させつつその独自性を発揮させる。

湘南らしさ／場所性の表現

緑の独自性は自然的要素である。この自然は地域性を大きく表現している。「湘南らしさ」は海（自然）であり、それは〈風〉〈光〉などである。この「湘南らしさ／場所性」の展開こそ、緑の大きな役割である。

既存資源の活用

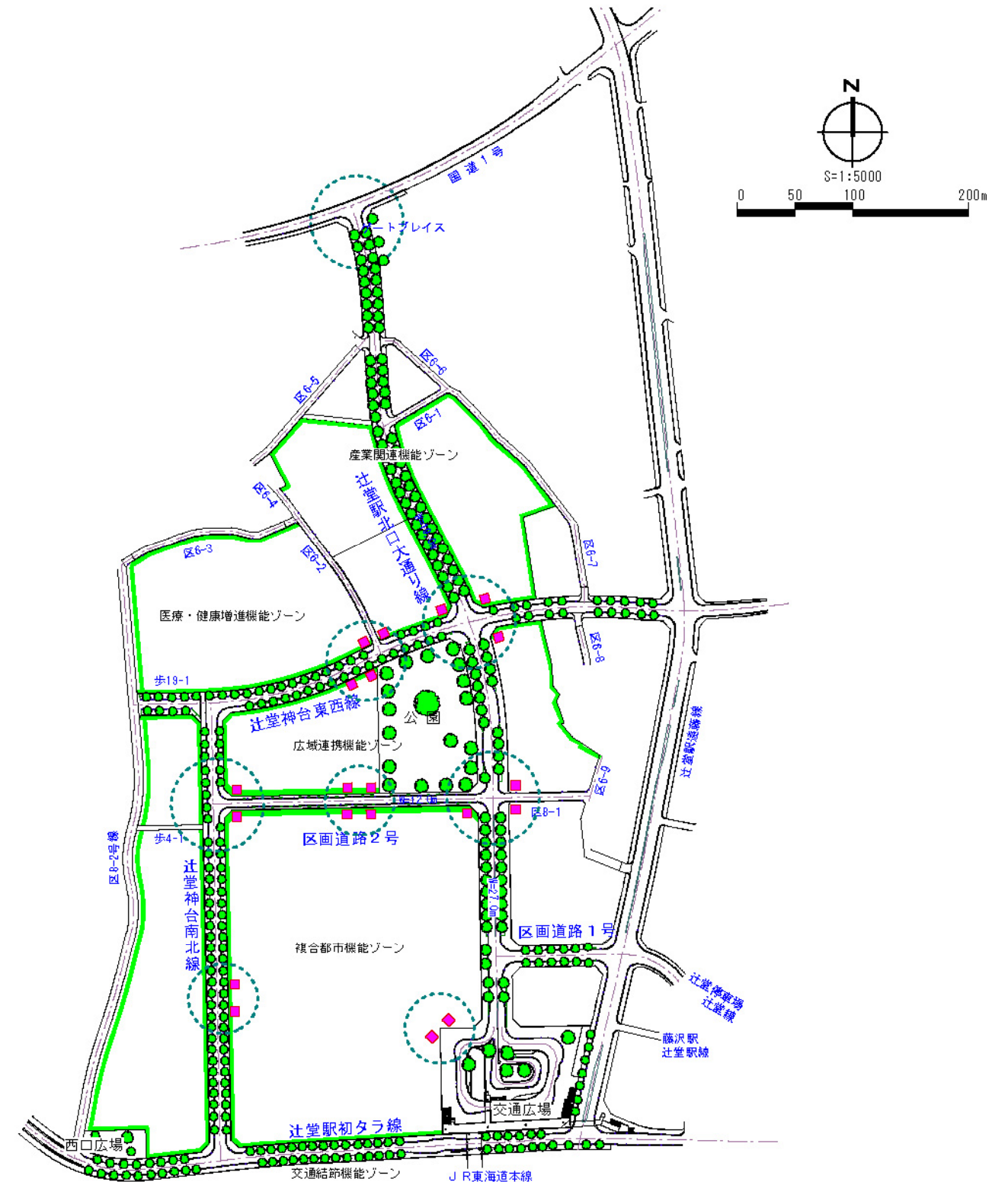
これまで当地区を彩ってきたJR辻堂駅北口や辻堂駅初タラ線の既存樹木を移植等により活用することは、土地の記憶の継承であり、また、年月を経た樹木の持つ風格は新しい街の景観に深みや奥行きを与え、ランドマークとして機能する。

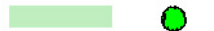


3

緑のデザイン

■地区の緑のイメージ図

公共の緑、半公共の緑（湘南C-Xまちづくりガイドラインに位置づけられている地区内の緑）、宅地内の緑により、点（拠点としての公園、広場）、線（街路、歩道状空地、緩衝緑地）、面（地区全体の緑）としての緑を確保していく。



		公共の緑	公園、交通広場、街路
		半公共の緑	歩道状空地、緩衝緑地

■各路線の整備方針

□街路空間/沿道等空間整備方針

○空間の演出

多様な景観・空間形成による、「発見」、「感動」のある楽しいまちづくりの演出

- ・特徴のある路線景観の形成
- ・季節感の演出

○沿道との調和

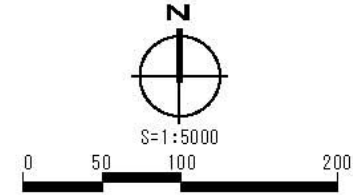
沿道の修景、一体利用を促し、街の「包容力」、「賑わい」を醸成する景観・空間形成

- ・沿道の利用可能性を高める景観の形成
- ・ゾーニング、土地利用を考慮した特徴づけ

○湘南らしさ

湘南の持つ自然の豊かさや、「海」、「風」、「光」などのイメージの表現

- ・湘南の持つイメージを連想させる樹木の選択
- ・海辺の植生構成種からの樹木の選択



□辻堂駅北口大通り線：辻堂地区のシンボル道路

- シンボル空間としての豊かな歩行者空間の形成
- 並木の緑量によるシンボル景観の形成
- 賑わいを演出する景観形成

- ・高木は緑量のある樹木を採用する。
- ・緑の変化（ゾーン、季節）により、賑わいを創出する景観の多様性を表現する。緑の変化は低木や地被類により表現する。

□辻堂神台東西線

□辻堂神台南北線：地域の主要幹線

□初タラ線

- 湘南らしさを表現し、地区を特徴付ける景観の形成
- 地区内の多様な景観の形成

- ・シンボル軸とは異なる雰囲気や特徴を持つ樹木により、地区内に多様性を与える景観づくりを行う。
- ・海辺植栽のイメージを持つ樹木などにより湘南らしさイメージさせる植栽とする。

□区画道路1号

：地区の主要歩行者ネットワーク

□区画道路2号

- 歩行者系の道路として、他の路線とは異なる雰囲気の特徴ある景観形成

- ・花木の植栽により、路線に特徴を与え、地区内景観に多様性を与える。

□外周部の緩衝緑地：地区境界、隣接地域の修景

- ・地区外周が、「裏側」の景観とならないように修景する。
- ・市境道路は、歩行者系の道路として、近隣住民にも親しまれる景観を形成する。

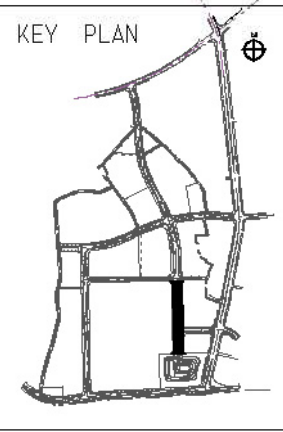
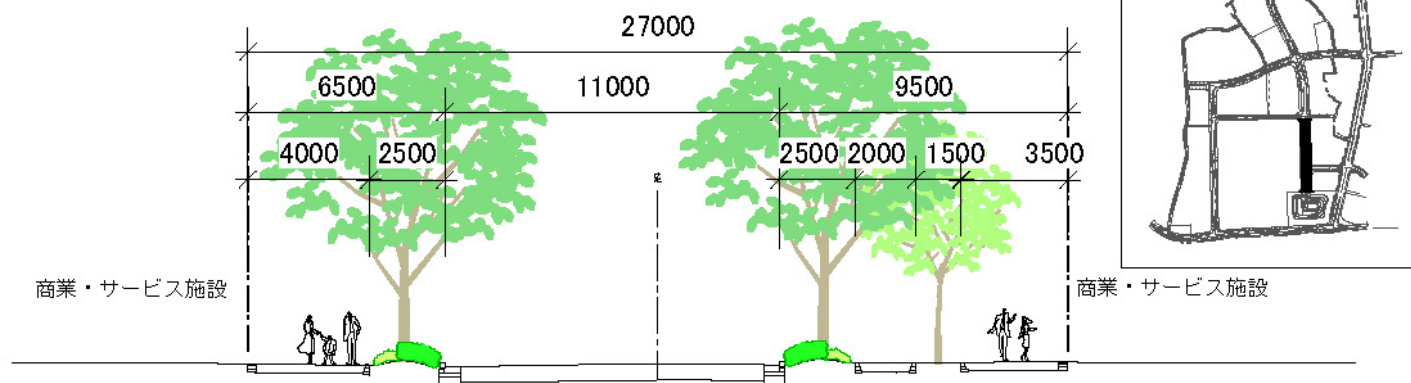
■辻堂駅北口大通り線の植栽手法

- 並木の緑量によるシンボル景観：軸線の表現
- シンボル空間として賑わいを創出する景観演出

- ・高木は緑量のある樹木を採用する。
- ・緑の変化（ゾーンごとの誘導、季節感）により、にぎわい空間を演出する多様な景観を形成する。

□27m区間 南側（にぎわい創出エリア）

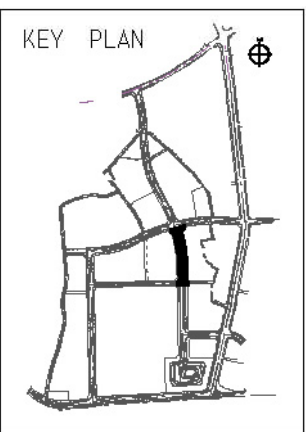
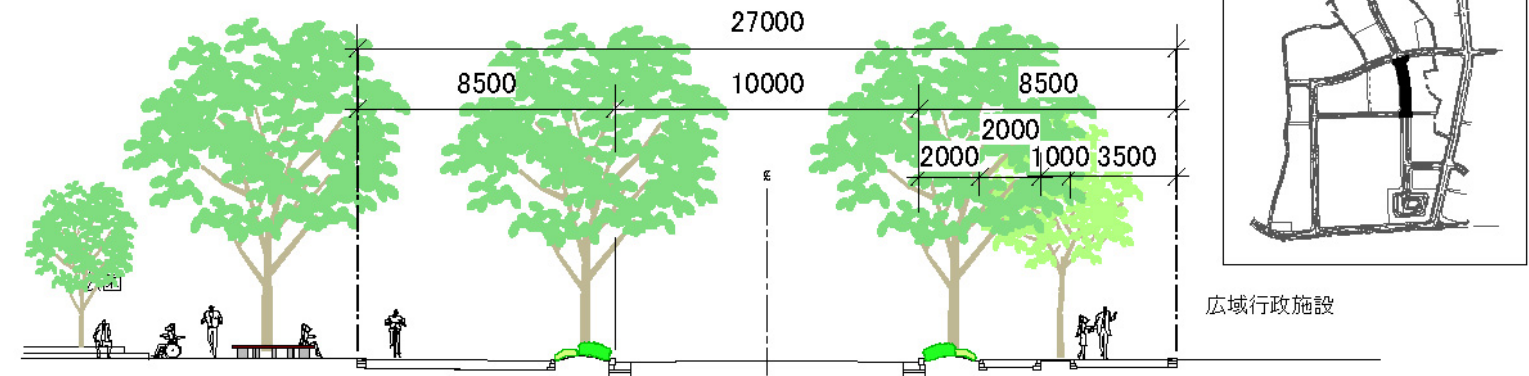
- ・東側：歩道上に2列植栽



にぎわい創出エリア 標準断面図 S=1:250

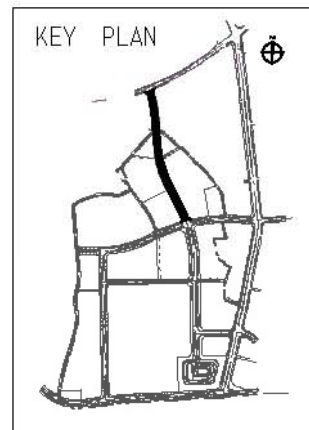
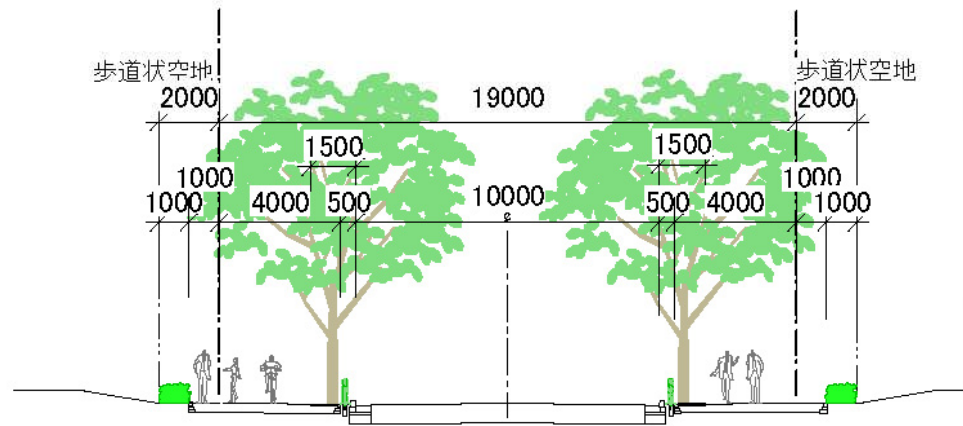
□27m区間 北側（公園ゾーン）

- ・東側：歩道上に2列植栽
- ・西側：公園側の植栽で緑を補完する



公園ゾーン 標準断面図 S=1:250

□19m区間

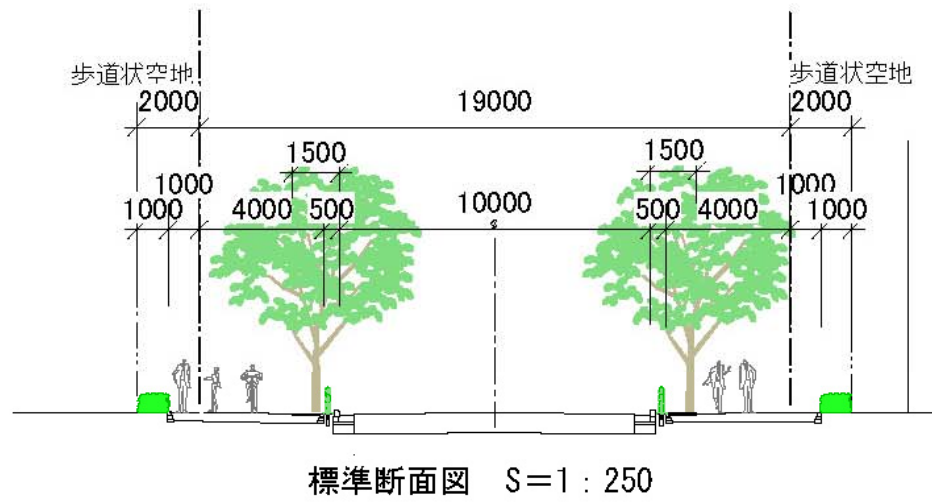


19m区間 標準断面図 s=1:250

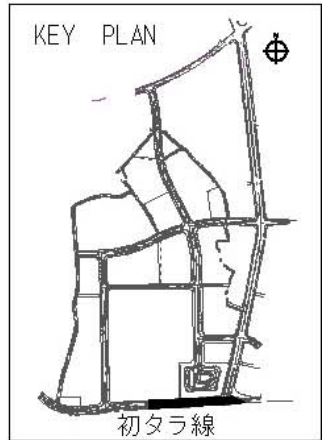
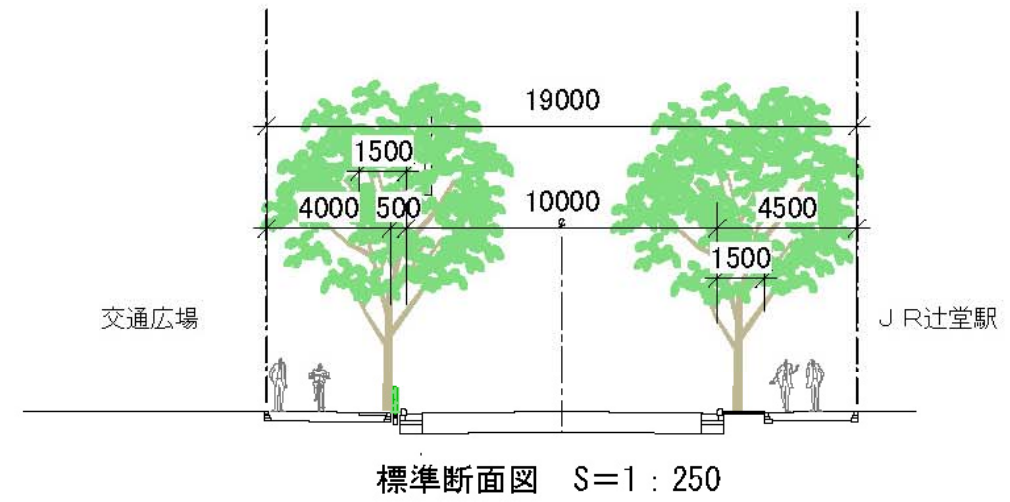
■辻堂神台東西線・南北線、区画道路等の植栽手法

- 湘南らしさを表現し、地区を特徴づける景観の形成
- 地区内の多様な景観の形成
- シンボル軸とは異なる雰囲気や特徴をもつ樹木を採用する

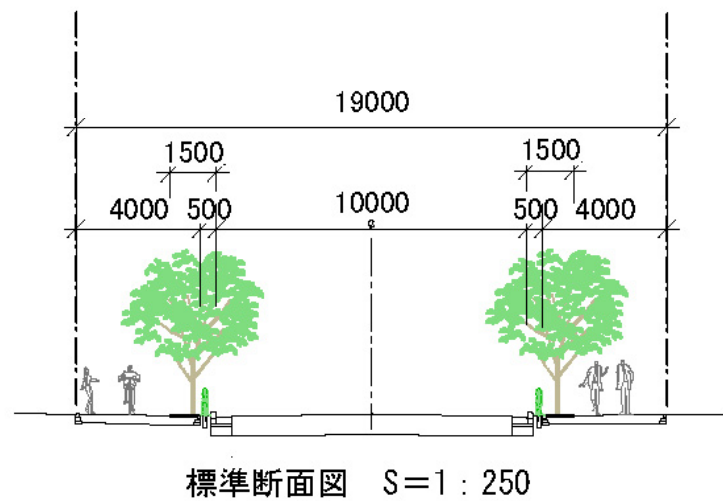
□辻堂神台東西線、南北線



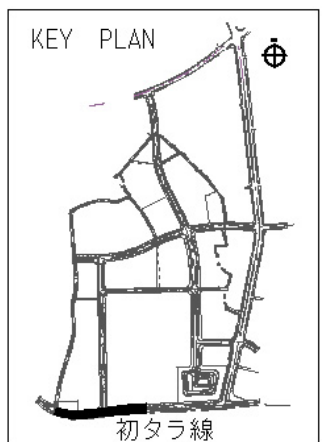
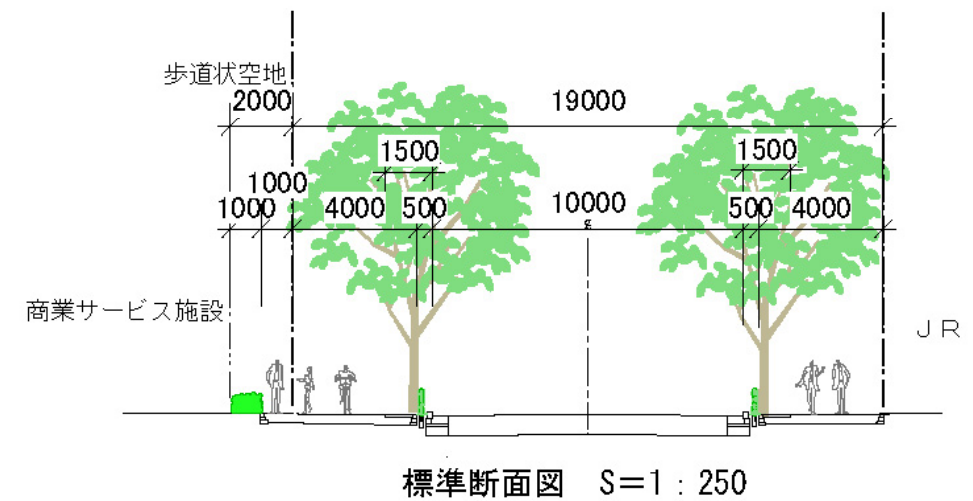
□初タラ線(交通広場側)



□区画道路1号



□初タラ線(西側)



■街路樹のイメージ

□各街路の景観形成方針と樹種のイメージ

	辻堂駅北口大通り線		辻堂神台東西線	辻堂神台南北線	初タラ線	区画道路1号線
景観形成方針	<ul style="list-style-type: none"> ・軸性の表現 ・シンボル性の表現 		<ul style="list-style-type: none"> ・湘南らしさを表現する ・辻堂地区を特徴付ける ・地区景観の多様性 			
	植栽帯のメインとなる並木	歩道センター部の並木	柔らかさ、落ち着き	特徴的な常緑樹 (海辺のイメージ)	地区外景観とのつながり (初タラ線東側の既存街路樹)	花木による季節感など 他路線とは異なる雰囲気
	緑量やシンボル性がある樹木	花木				
イメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・クスノキ ・ケヤキ ・モミジバフウ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハナミズキ ・ヤマボウシ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ナンキンハゼ ・トウカエデ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホルトノキ ・タブノキ 	<ul style="list-style-type: none"> ・イチョウ 	<ul style="list-style-type: none"> ・サルスベリ ・ハナミズキ

■街路樹事例

□緑による軸性、シンボル性（辻堂駅北口大通り線）

○クスノキ（常緑樹）



○ケヤキ（落葉樹）



○モミジバフウ（落葉樹）



■街路樹事例

□海辺をイメージさせる植栽や地区内の景観を多様にする植栽（東西線、南北線）

□東西線

○ナンキンハゼ（落葉樹）



○トウカエデ（落葉樹）



□南北線

○ホルトノキ（常緑樹）



○タブノキ（常緑樹）



∞

□地区外景観の踏襲

□初タラ線

○イチョウ（落葉樹）



□歩行者系路線としての華やかさ

□区画道路1号

○サルスベリ（落葉樹）



○ハナミズキ（落葉樹）



■交通広場の植栽のイメージ

交通広場の植栽は次の点を考慮する。

- ・当地区の顔、玄関口としてシンボリックな景観形成
- ・歩行者動線への配慮
- ・歩行空間と滞留空間の領域形成

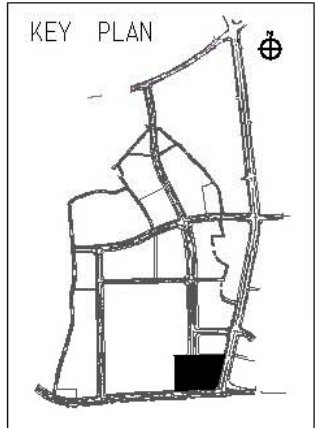
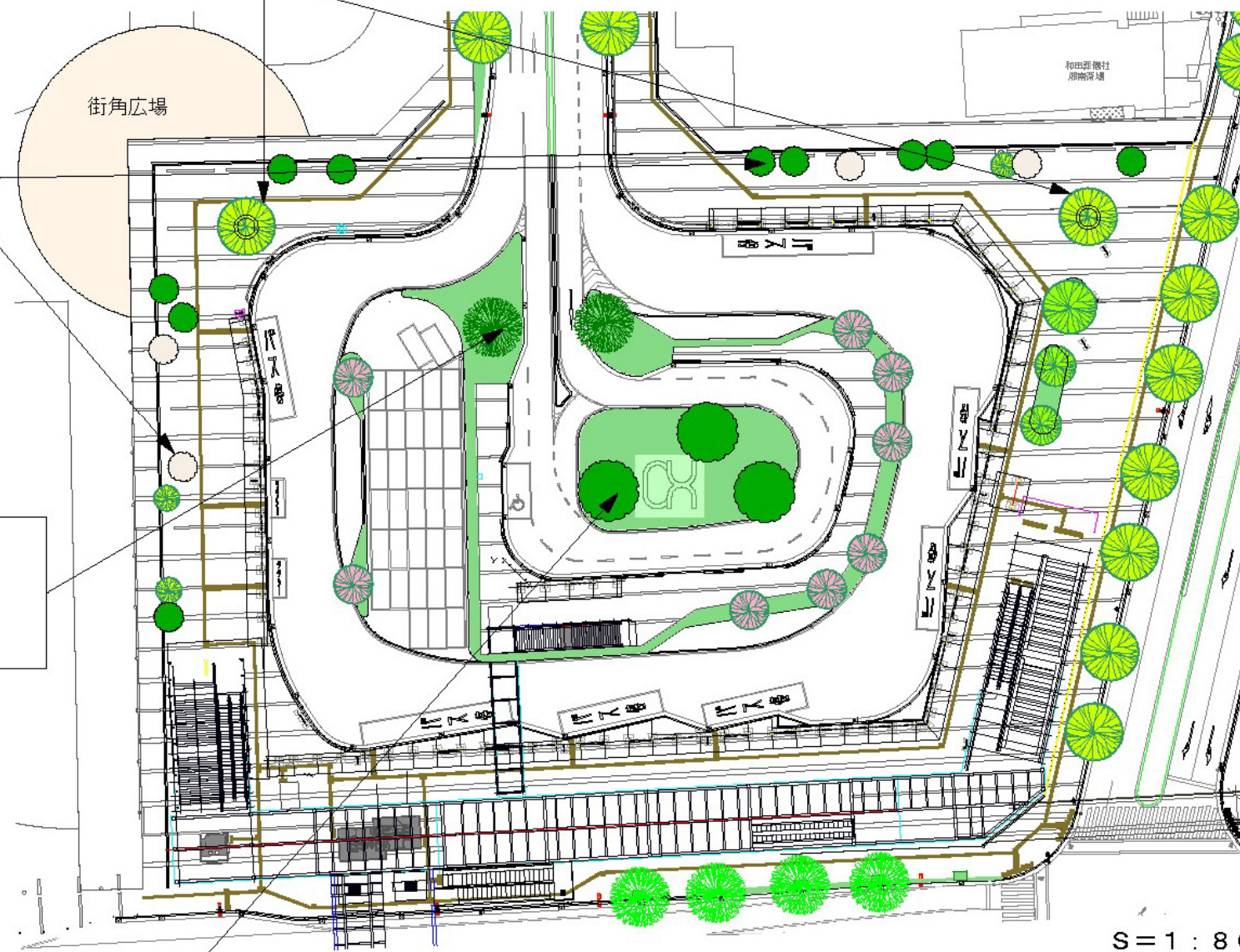
- 歩行者空間にゆとりがある箇所では景観木を植栽して空間、景観にまとまりを与える
 - ・樹形の整う樹木
 - ・明るい雰囲気のある落葉樹

- 歩行者空間（公共）と滞留空間（民地）との領域性の形成
ハードな空間に「柔らかさ」を与える
 - ・柔らかい雰囲気を持った樹木
 - ・湘南らしさを表現する樹木
 - ・彩を与える花木

- 北口大通り線に対しゲート性を表現し、アイストップとなる景観
 - ・シンボリックな樹形
 - ・ライトアップやイルミネーションなどイベント利用に映える樹木

- シンボリックな存在感のある樹木
 - ・緑量のある樹木
 - ・湘南らしさを表現する樹木

- 交通島などの広い植栽帯では、低木・地比類は混合植栽とする。
歩行者の視線に加え、デッキや商業サービス施設からの俯瞰を考慮した植栽デザインを行う。





【湘南C-X(シークロス)とは】

「複合的(Complex)」の頭と尾を用いて簡略化し、「C」はCity(都市)・Culture(文化)・Sea(海)を表し、「X」はCross(辻)を意味し、湘南に代表される、自然・文化・都市がクロスし発展するよう、一般公募により選ばれた街の愛称です。

発行元：藤沢市辻堂駅周辺地域まちづくり会議

事務局
藤沢市役所 計画建築部 辻堂駅前都市再生担当
〒251-8601 藤沢市朝日町1番地の1
TEL0466-50-3552 FAX 0466-29-1353
Eメール：tujitosi@city.fujisawa.kanagawa.jp

※ お問い合わせは、電話、FAX、Eメールで事務局までお寄せください。

辻堂駅前都市再生担当のホームページにもニュースを掲載しています。
<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/tujitosi/>